

## ロタウイルスによる胃腸炎が増えています！

### ロタウイルス胃腸炎とは？

ロタウイルスの感染による胃腸炎で、冬から春先に流行し、突然の下痢や嘔吐、発熱で発症します。頻回の下痢と白色の水様便が特徴です。

2歳未満の乳幼児では重症になりやすく、脱水が進み、点滴や入院が必要になることもあります。

予防にはワクチンが有効です。



### ロタワクチンには 発症予防効果あり！！

昨年市内の保育所でロタウイルス胃腸炎が流行しました。0歳児クラス18人中5人が発症し、そのうち4人はワクチン未接種でした。一方ワクチン接種をしていた10人のうち発症したのは1人だけでした。このようにロタワクチンには発症予防効果があることがわかっています。ただし複数回あるワクチンの初回接種を生後15週までに完了しなければいけません。

### 感染対策

H29年度にじいろ通信12月号、嘔吐物・排泄物の処理を参照して下さい。

### 登園基準

下痢、嘔吐、発熱等の症状が治まり、普段の食事ができれば登園できます。

### 専任看護師を紹介します



神野悦子です

お子さまが早く元気になれるように、状態に合わせた看護をします。



良くなったかな？



### 病児保育室での感染症対策⑦ 標準予防策

「汗を除く血液、痰、糞便、傷からの分泌物などのすべての湿性分泌物には病原菌が含まれているものとして対応すること」を標準予防策といいます。具体的には血液や体液などの湿性分泌物には直接素手で触れずに使い捨て手袋を使用する、血液や体液が付着した器具などは洗浄後に適切な消毒をし、適切に廃棄するなどの対応をすることです。病児保育室では標準予防策に基づいた感染対策を実施しています。保育所、幼稚園でも可能なかぎり標準予防策を実践するようにしてください。

### 病児保育室ご利用状況 平成30年4月

平成30年度からは毎月の病児保育室の利用状況についてご報告させていただきます。

4月の利用人数は33人でした。疾患別順位では急性上気道炎14名で最も多く、次いで感染性胃腸炎3名（ロタウイルス胃腸炎1名）でした。

年齢別順位では1歳児が14名（42%）、2歳児8名（24%）の順でした。高熱で入室後に頻回の下痢症状となり急きょ点滴治療を行ったケースがありました。原因は病原性大腸菌による腸炎でした。

### 保育室より

保育所に入所すると1~2週間で風邪をひきます。やっと治って保育所に行けたと思ったら、また熱が出ましたと連絡があり、あわてて保育所にお迎えに。4月になるとこんな光景をよく見かけます。

子どもにとって初めての集団生活は大変なストレスです。ストレスは免疫力を低下させます。生活・環境に慣れるまで、子どものペースに合わせて、無理せずゆったりかわってあげましょう。